

NPO法人 世界のこどもネット

## 国際インターンシップ報告【カンボジア】

☆ ミニレター vol. 2 ☆

2012年10月15日発行



2012年6月～8日、文化交流を目的とし、カンボジア王国よりインターン生として、ソピャーさんと、ソクヘングさんを迎え、日本芸術文化交流、日本歴史学習、日本の人々との交流等を実施致しました。100人以上のボランティアの皆さまにご支援を賜り、心より感謝申し上げます。東京に於いて、インターン生受け入れの責任者として、3か月間お支え下さいました矢嶋理事より、インターンシップに関するご報告を頂きました。

世界のこどもネットの会員の皆様、いつもご支援をいただき有難うございます。理事の矢嶋でございます。この度、カンボジア王国インターンシップ事業を通じて、微々たる働きではありますが、日本とカンボジア王国の関係の深化にむけて貢献できれば、この上ない喜びであり、私自身、多くの学びを得ることができる機会をいただき、感謝いたしております。

ソピャーさんとソクヘングさんとは、日本文化の礎となる歴史を軸に、江戸時代から近代にかけていっしょに学ぶ時間を共有致しました。私達日本人として学んだ日本の歴史と、外国で学ぶ日本の歴史の内容の濃さに大きな違いがあり、世界から見た日本が、歴史的な観点からどのような位置づけでありかを、再度振り返る必要を感じました。

カンボジアは、仏教信仰の国です。ソピャーさんとソクヘングさんも敬虔な仏教徒です。神社は初めての経験だったようで、日本は仏教国であるけれども、神社へのお参りも一般的であることを説明し、何箇所か訪問するうちに、どちらなのかが理解してもらえたようで、日本文化と宗教の在り方等、伝えることができたのではないかと思います。

短期間で、日本語と日本の文化を同時に学ぶのは、とても大変なことだったと思います。日本語については、時間の制約があったため、不足している部分もあったかと思いますが、文化交流に関しては、実際に町並みや観光地といった現場をいっしょに訪問し、十分に感じてもらったのではないかと考えています。また、世界のこどもネットのボランティアの皆様、ホームステイ先として受け入れていただき、ソピャーさんとソクヘングさんは、とても幸せそうでした。地域のお祭りに参加したり、和太鼓やお琴の演奏体験をしたり、お湯でいっぱいのお風呂に入ったり、陶器づくり、浴衣の着付け、鶺鴒い見学、日本料理づくり等、幅広い世代の、いろいろな分野でご活躍されているボランティアの皆様、受け入れていただき、二人とも、ひとつひとつ吸収しようと頑張っていました。私にとっても、インターン生二人との経験は、大変有意義なものとなりました。

最後に、あらためまして、本インターンシップ事業において、受け入れをして頂いたボランティアの皆様方に心から御礼を申し上げます。有難うございました。

理事 矢嶋 武

